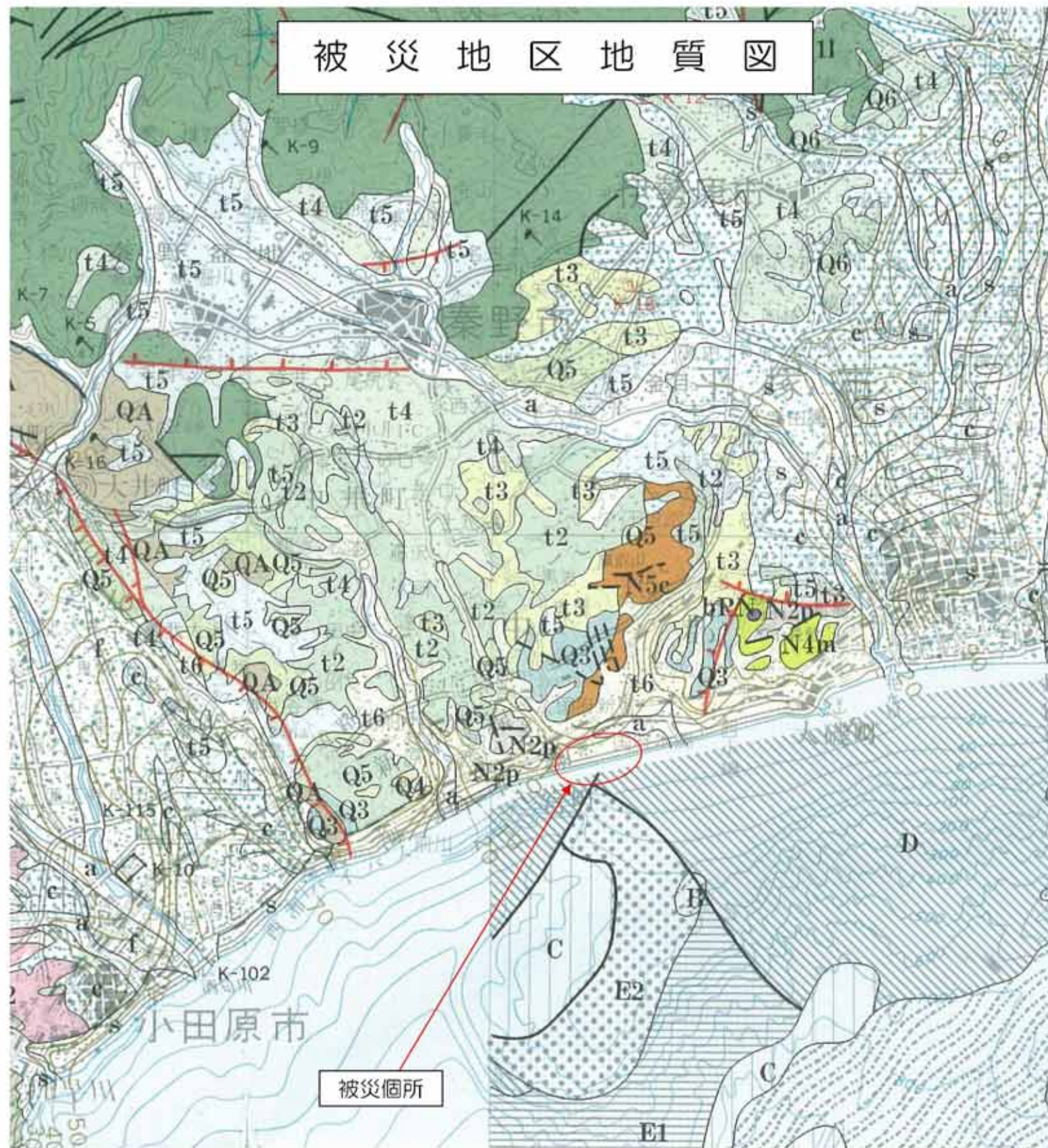
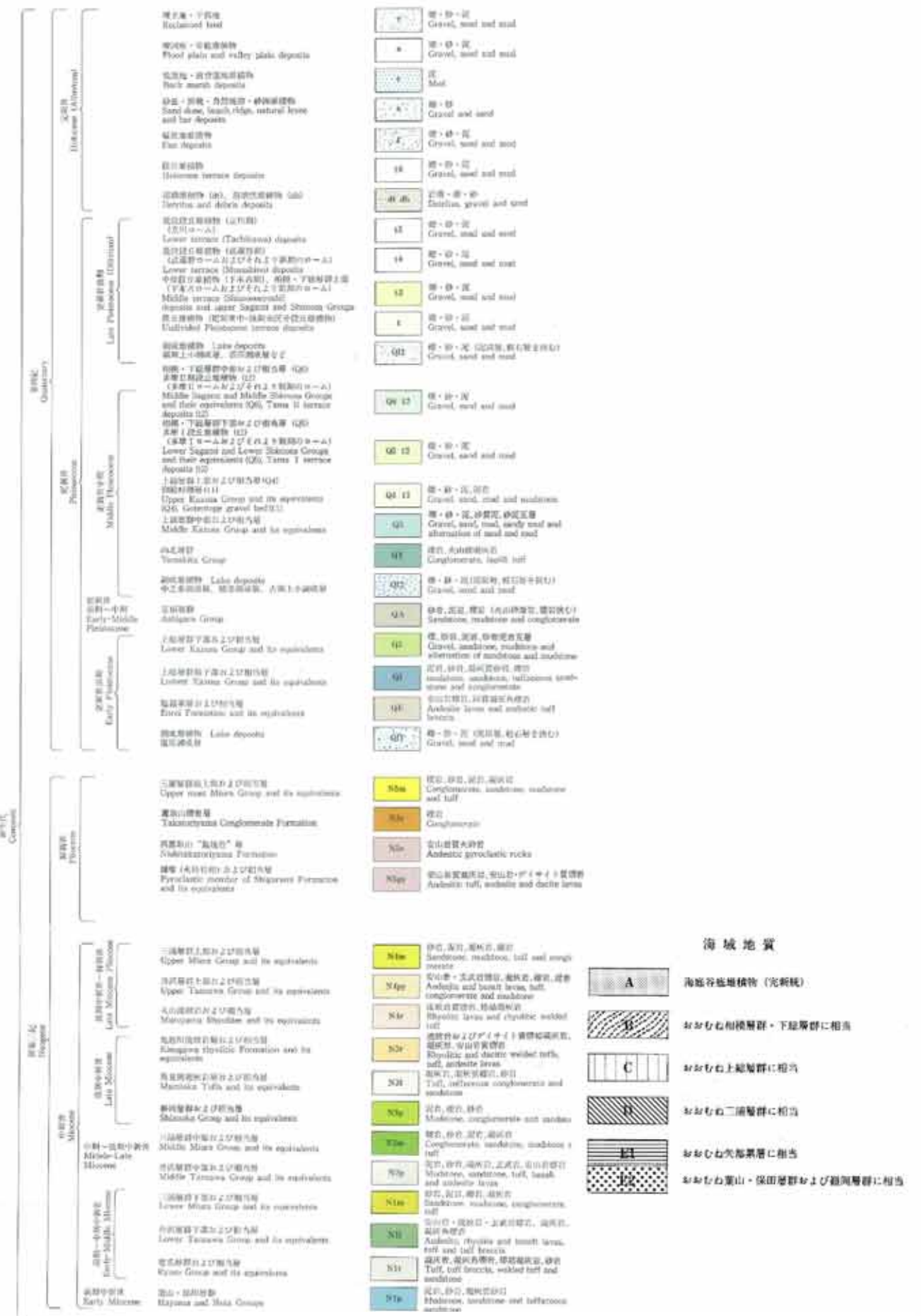


< 参考資料 >

1. 土質調査結果



被災箇所の地質構造は概ね礫岩、砂岩、泥岩等で構成される三浦層群（新第三紀中新世～鮮新世）を基盤とし、その上部に上総層群中部相当のN50以上の砂層（第四紀更新世中期）、N値20～40程度の砂層、礫層からなる段丘堆積物(完新世)が堆積している。



出典：「関東地方土木地質図」国土開発技術研究センター発行 H8.3

ボーリング柱状図

調査名 (仮称)西湘バイパス 調査ボーリング

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3		調査位置	Kp. 5.52 上り線側2.0m		北緯	
発注機関	横浜国道事務所 大磯出張所		調査期間	平成 19年 9月 9日 ~ 19年 9月 9日		東経	
調査業者名	川崎地質株式会社 電話 (045-263-0411)		主任技師	河原崎 慶典		現代理人	河原崎 慶典
孔口標高		角	方		地盤勾配	使用機種	試錐機
総掘進長	15.25m	180° 上 90° 下 0°	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	鉛直 0°	水平 0°	YBM-05	ハンマー 落下用具 トンビ
						NFD-9	ポンプ V5-P

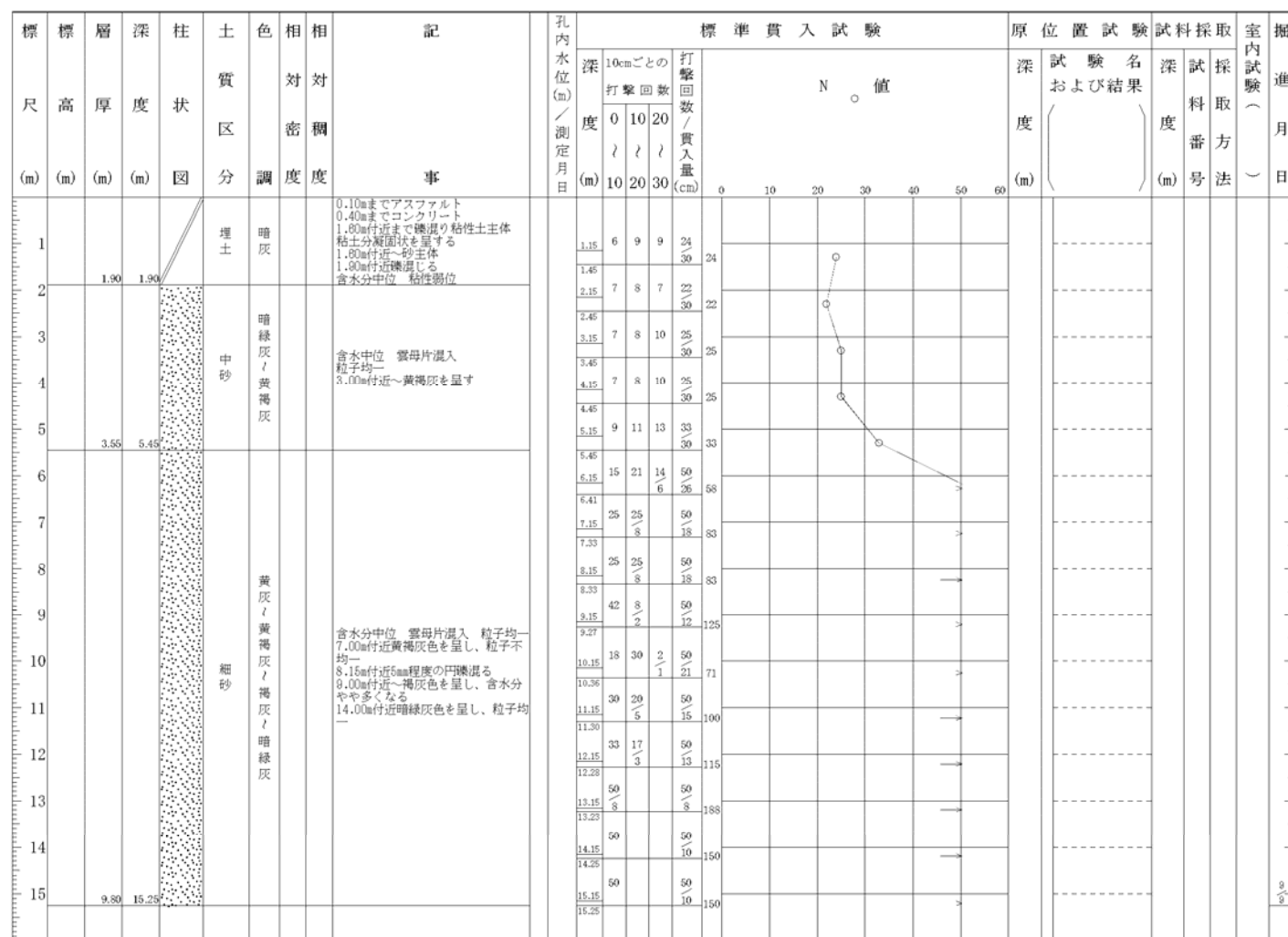


図-1.3 ボーリング柱状図 (5k520m)

ボーリング柱状図

調査名 湘南バイパス災害復旧工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 4		調査位置			北緯	
発注機関			調査期間	平成 19年 9月 8日 ~ 19年 9月 9日		東経	
調査業者名	電話		主任技師	現代理人		ボーリング責任者	河野 潔
孔口標高		角	方		地盤勾配	使用機種	試錐機
総掘進長	15.41m	180° 上 90° 下 0°	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	鉛直 0°	水平 0°	KD-1B	ハンマー 落下用具 半自動落下
						NFD-8	ポンプ MG-5h

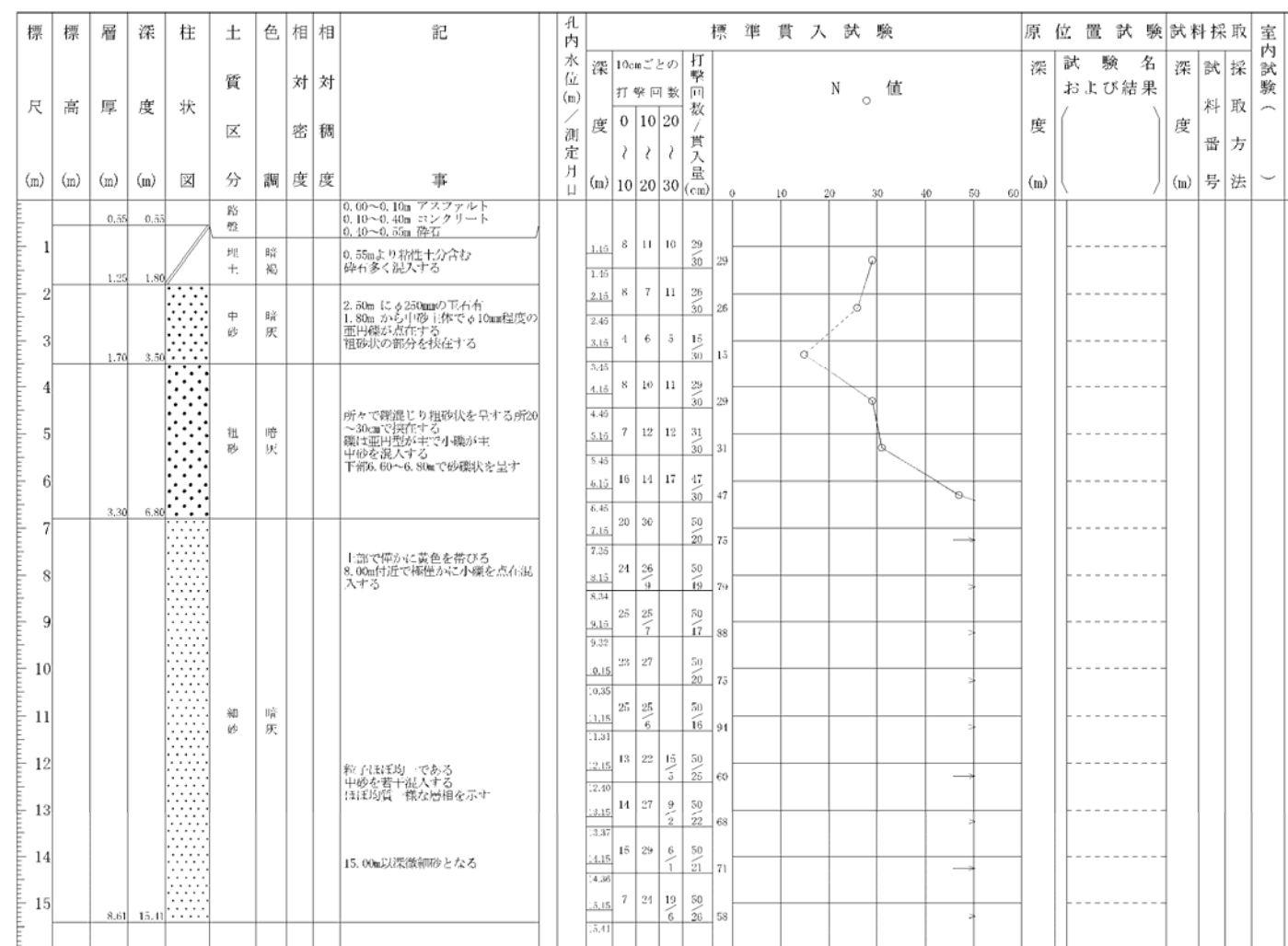


図-1.4 ボーリング柱状図 (5k615m)